



Maehara International Understanding

M エム **I** アイ **U** ユー

前原高校国際理解しんぶん 9/30

第 **2** 号 発行:国際理解教育委員会

= 令和4, 5年度国際理解教育研究校 =

MIU のロゴ決定!



コンセプト

- ① **M**aehara **I**nternational **U**nderstanding の頭文字「**MIU**」を筆記体に変える。
- ② 手と手が交差しているかのように配置して「**コミュニケーション**」を表現。
- ③ 真ん中の★マークは互いの異文化を理解し、尊重して生まれた「**相互理解**」を表す。

↑ 昨年、本校で美術を担当した
糸数昌先生が考案しました!



◆ 私の異文化体験 ◆

石垣 忍 教頭先生 in「カンボジア」
～カンボジア・沖縄平和交流への参加～

2014 (平成 26) 年 12 月、沖縄県立博物館・美術館の学芸員として勤務している時、カンボジアと沖縄の平和文化交流の一環として、カンボジアを 2 度訪問した。カンボジアといえば、アンコールワットの遺跡が有名で 9～13 世紀にクメール王朝が栄えた。その後 19 世紀にはフランスの植民地になり、1975 年からは、共産主義勢力中心の政権 (ポル・ポトによるクメール・リージュ政権) により多くの人が虐殺により犠牲 (約 800 万人) となった歴史がある。

そのカンボジアの歴史を風化させないため、沖縄県で進められている「平和教育」の在り方 (展示や解説、ワークシートの作成など) を伝え、世界遺産のトゥールスレン虐殺博物館やカンボジア国立博物館の学芸員の方々と一緒に地方 (バタンボン市) の移動展示会など開催した。また、2 度目の訪問 (2015 年 3 月) では、県立芸術大学の学生とカンボジア芸術大学の学生による芸術・文化交流 (琉球舞踊とアプサラ [カンボジア舞踊]) も行った。カンボジアのスタッフはクメール語なので通訳の方を通していろいろな打ち合わせを行った。しかし、直後、カンボジアのスタッフが「英語」で聞いてくる場面もあり、うまくコミュニケーションがとれず、もう少し英語を勉強しておけばよかったとつくづく感じた。やはり英語は万国共通語なのかな!!



現地学生へ
展示解説→

←文化交流



★「シンガポールの生徒とオンライン交流」
9月8日視聴覚室にて、前原高校
1年2組とシンガポールクランジ
中等学校のオンライン交流会が行
われました。プログラムの目的は
互いの文化を学び理解を深めるこ
と、意見交換による共同作業を通
してグローバルな視野を広げるこ
となどです。
生徒たちは、海外の生徒たちと英
語でのコミュニケーションを楽しん
でいました。次回の交流会に向けて
英語学習のモチベーションもアツプ
しています!

Online School Exchange 2022



校長先生 & 優
子先生もオン
ライン中! →



画面越しでもワクワク♥

